

超音波洗浄機 TUS-820 7-3010-01

この度は、超音波洗浄機 TUS-820 をご購入頂きまして誠にありがとうございました。
 本品を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。
 お読みになった後は、いつでも見られる所に保存し、ご活用ください。又、本品を譲渡・貸与される時には、
 新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱い説明書を、製品本体と共に必ずお渡しください。

<特徴>

この超音波洗浄機は、超音波が液体中を伝わると、洗浄物の表面に、非常に細かい真空状の気泡が発生し、これがはじける時の強力なエネルギーにより、被洗浄物に付着している汚れを剥がします。
 超音波は微細な部分にも回り込み、精密な洗浄ができます。
 しかし、超音波洗浄機にも被洗浄物について、かなり得手、不得手がありますのでご注意ください。

洗浄物に不適当なもの	超音波に適当なもの
ゴム類、布類（柔らかい材質のもの）	メラミン樹脂
ポリプロピレン製品	ナイロン
木製品	アクリル
薄いアルミ製品（表面組織が脆い）	ポリスチレン
穴が貫通していない形状のもの	ポリエチレン
入り口が狭く中が広がったもの	塩化ビニール
注射針	ポリカーボネイト
銀メッキの装飾品	エポナイト
陶器類の絵や文字	金属類
トランジスタ装着のプリント基盤	

◎各シンボルマークの定義

※製品を使用する前に必ずお読みください。また、警告・注意の指示は必ず守ってください。

 警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。

<設置上の安全に関する注意>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

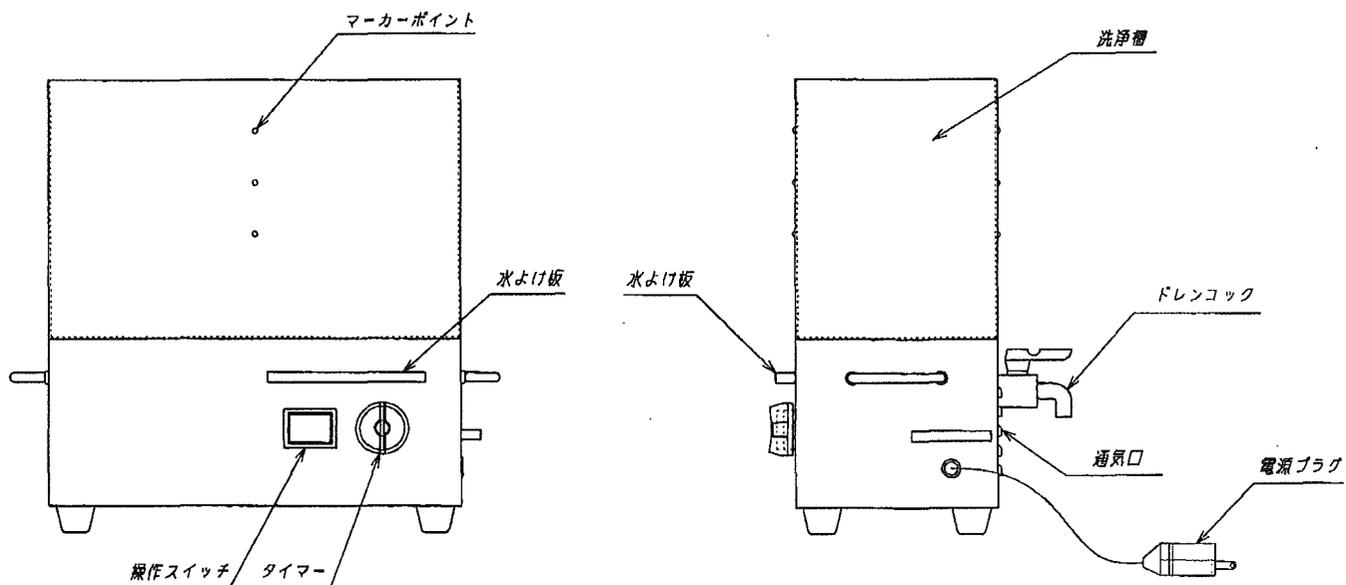
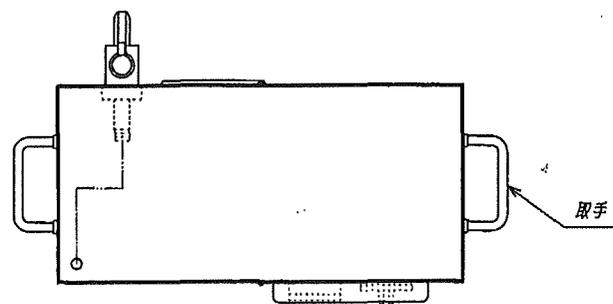
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに引火性の固体・液体・気体のないところ。 ・可燃物の上でないところ ・周囲温度が5～35℃以内のところ。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・結露しないところ。 ・水平で安定したところ。 ・湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ。 ・ホコリの少ないところ及び風通しの良いところ。 ・直射日光のあたらないところ。 ・電源コードは、足を引っ掛けないようなところに取りまわしてください。

※本器は、屋外で使用することはできません。

<使用上の安全に関する注意>

 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンナー、ベンジン等、引火性、爆発性のある液体は絶対に使用しないでください。火災や爆発事故の原因となります。 ・タイマ、スイッチ等、架台部分に洗浄液がかからないようにしてください。架台部分に洗浄液が侵入すると、感電や故障の原因となります。 ・アースは、必ず接続してください。アースが接続されなかったり、不完全な場合は、感電事故の原因となる場合があります。又、アースは、ガス管や水道管には絶対に接続しないでください。 ・本機に触って「ビリッ」と電気を感じる時は、電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。 ・架台内部を開けて、内部の部品に触らないでください。感電の原因となります。 ・濡れた手で、スイッチ、タイマ操作やコンセントに触らないでください。感電の原因となります。 ・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。 ・ユーザー側での修理は絶対に行わないでください。感電や火災などの事故の原因となります。 ・異常音や発熱、発煙がある時は、直ちに電源を遮断して使用を中止してください。 ・洗浄中は、洗浄液中に手や指を直接入れないでください。間接を痛める恐れがあります。 ・洗浄液の排水は、ドレンコックから排水してください。本機を傾けて排水しないでください。架台内部に洗浄液が侵入すると、感電や故障の原因となります。 ・洗浄液を間違えて飲まないよう、廃液の取扱いに十分注意してください。 ・電源プラグの差し込みがゆるいコンセントは使用しないでください。接触不良により、火災の原因となる場合があります。 ・長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、コードを持たずに抜いてください。 ・運転状態で運搬しないでください。又、運転していない状態でも、洗浄液を入れたまま運搬しないでください。 	     
 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄槽に洗浄液を入れる時は、ドレンコックが完全に閉の状態であることを確認してから入れてください。閉まりきっていない時は、洗浄液が流れ出して、空運転の状態になります。 ・槽内に洗浄液だけの状態で運転すると、故障の原因になります。 ・ワークは、洗浄槽底部に密着させないようにしてください。（付属の網カゴ等を利用してください。） ・ワーク同士が触れ合わないようワークを入れてください。 ・洗浄液の温度は、最高で70℃までとしてください。また、温度が高い時は火傷に注意してください。 ・背面の通気口は塞がないようにしてください。架台内部が加熱して、発振子が停止する場合があります。 ・保管する時は、電源プラグをコンセントから抜いて、洗浄槽に洗浄液がない状態にしてください。 ・長時間連続して運転すると、サーモスタットが発熱を感知して発振が停止します。発熱を感知して停止した時は、運転スイッチをOFFにして、自然に冷やしてください。 	

<各部の名称>



<運転準備>

- ①設置上の安全に関する注意の項目を満たす所に本機を置いてください。
- ②必要に応じて、ドレンコックに付属のホースを差し込んでください。
- ③網カゴにワークを入れ、洗浄槽に入れてください。
- ④ドレンコックが完全に閉の状態であることを確認してから、ワークが沈んだ直ぐ上のマーカーポイントまで洗浄液を入れてください。
- ⑤必要に応じてフタをしてください。
- ⑥電源プラグを AC100V のコンセントに差し込んでください。
(コンセントがアース付の 3P の場合は、付属の接地アダプタを外して差し込んでください。接地アダプタをそのまま使用する時は、必ずアースを接続してください。)



警告

・アースは必ず接続してください。アースを接続されないと感電事故の原因となります。

<操作方法>

- ①運転の時は、タイマのつまみを任意の時間まで廻してください。
 - ②操作スイッチを押してONにしてください。この時点で、洗浄が始まります。
 - ③運転を終了する時や、タイマ運転中に途中で停止させる時は、操作スイッチを再度押してOFFにしてください。
- ※タイマがタイムアップして洗浄が停止しても、操作スイッチはONのままの状態になっています。タイムアップ後は、必ず操作スイッチをOFFの状態にしてください。
- ※長時間連続して運転すると、サーモスタットが発熱を感知して発振が停止します。発熱を感知して停止した時は、操作スイッチをOFFにして、自然に冷やしてから再び使用してください。(サーモスタットは自動復帰します。)
- ※1回の運転は30分以内とし、繰り返し運転する場合は外気温にもよりますが、10～15分ほどの間隔をあけてください。

<洗浄効果をよくするために>

- ・洗浄効果をよくするために、水の中の空気を脱気する事が必要です。超音波により自然に脱気できますが、界面活性剤(家庭用中性洗剤)を若干投入することにより、著しく脱気が促進されます。
- ・水の温度と音波の吸収は、密接な関係があります。水温を40℃～70℃程度に上昇させると、非常に効果があります。
- ・タンク側面のマーカーポイントは、効果的な洗浄液の液面です。被洗浄物が沈んだすぐ上のマーカーポイントまで洗浄液を入れてください。

<お手入れについて>

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。

取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・お手入れの際は、洗浄液を抜いて、電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。 ・清掃する場合は、外装や架台部分に直接水をかけたりしますと感電等の事故原因になりますので、絶対にしないでください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・クレンザー(磨き粉)、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

<トラブルシューティング>

下記の表で、症状とその処置方法を示しています。この処置で直らない時や、原因がわからない時は必ず、ご購入先まで相談してください。

症状	確認部分	処置方法
運転スイッチを ON にしても作動しない	①電源プラグがコンセントから抜けている。 ②設備側の電源（ブレーカー）が OFF になっている。 ③タイマーが OFF になっている。 ④発熱によりサーモスタットが働いている	①電源プラグをコンセントに差し込む。 ②設備側の電源（ブレーカー）を ON にする。 ③タイマーを設定する。 ④自然に冷えてから使用する。
本機の発熱が大きい。	①直射日光の当たる所に置いている。 ②周囲温度が高い所に置いている。 ③背面の通気口が塞がっている。 ④長時間使用している。	①直射日光の当たらない所に置く。 ②周囲温度が 35℃ 以内の所に置く。 ③通気が塞がらない所に置く。 ④適度に停止させる。
本機に触ると‘ビリッ’と電気を感じる	①架台部分に水が浸入している。 ②湿気の多い所や水のかかる所に置いている。 ③アースが確実に接続されていない。	①点検、修理を依頼する。 ②湿気の少ない、水がかからない所に置く。 ③アースを確実に接続する。
出力が弱い	①水位レベルが出力しにくいレベルになっている	①洗浄槽のマーカポイントまで洗浄液を入れる。



警告

・ユーザー側での修理は絶対に行わないでください。感電や火災などの事故の原因になります。

<仕様>

外形寸法	313×153×352 (mm)
槽内寸法	310×150×200 (mm)
重量	5.9Kg
容積	液量 8.4L [※] 有効 180mm…マーカポイント (洗浄効果のよい液面の高さ)
電源	AC100V 50/60Hz
発振出力	100W (50W×2)
発振周波数	39KHz
タイマー	0～30 分計
槽材質	ステンレス製 (SUS-304)
ボディ材質	鋼板 メラミン焼付塗装
発振器	ボルト締めランジュバン型 (内臓)
排水形状	ドレンコック付き (排水ホース 2m 付き)
洗浄液	市水、温水 (超音波用洗剤を併用のこと)
付属品	フタ (切込式把手穴付き) 3P 電源コード 2P アダプター (アース付き) 取扱説明書

AS ONE アズワン株式会社

2版 2003年8月作成

■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

FAX 0120-700-763

e-mail q@so.as-1.co.jp

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分

土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません